



平成29年11月10日

海上保安庁

JICA 研修員が駿河湾で測量船による乗船実習を実施します
～最新の海洋調査技術を習得～

海図作成のための水路測量技術の習得を目的として来日している5カ国9名の独立行政法人国際協力機構（JICA）研修員が、最新の海洋調査技術の習得を目的として、11月22日及び23日の2日間、駿河湾において測量船「海洋」に乗船します。

海図作成のための水路測量技術の習得のため、各国の関係機関の水路測量技術者（5カ国9名）が、本年6月下旬から来日し、JICAと海上保安庁が協力して実施している研修に参加しています。今回、測量船に搭載された最新の海洋調査機器の操作方法等の習得を目的とし、11月22日及び23日の2日間、駿河湾において海上保安庁所属の測量船「海洋」による乗船実習を実施します。

実習日程及び内容（予定）

- ・11月22日（水）08:30～16:30（09:45頃清水港出港、16:30頃帰港）
「海洋」に搭載されたマルチビーム音響測深機による沖合の水深データの取得等
- ・11月23日（木・祝）08:30～11:15（清水港に停泊したまま実習を実施）
海水の水温や塩分を測定する機器の操作方法や観測機器を船に固定する際に必要となるロープの結び方（ロープワーク）の実習等

測量船「海洋」停泊場所（出入港場所）

清水港内江尻4号岸壁（静岡県静岡市清水区島崎町174付近）

研修員の構成（5カ国9名）

エルサルバドル2名、インドネシア3名、マレーシア1名、フィリピン1名、
ウクライナ2名

研修全体の概要については、6月23日広報資料（別添）を参照。

取材申し込み

11月23日（木）のみ、清水港で停泊した測量船船内での取材が可能です。取材を希望される方は、別紙申込書に必要事項を記載の上、11月16日（木）までに記載の宛先に送付をお願いします。

実習予定場所（駿河湾）



過去の実習風景



測量船乗組員から水深データの処理方法について説明を受ける研修員



測量船乗組員から採泥器を用いた作業について説明を受ける研修員



ロープワーク実習に取り組む研修員

(別紙)

(申し込み先)

海上保安庁海洋情報部技術・国際課国際業務室 あて

FAX : 03-3595-3626

TEL : 03-3595-3605

JICA 研修 駿河湾乗船実習 取材申込書

勤務先・所属	
取材希望者名 (複数可)	
連絡先(携帯電話等)	
取材希望日時	11月23日(時 頃~)
取材内容	
<p>取材内容の詳細をお尋ねすることがありますのでご了承ください。 荒天時は、直前に取材をお断りする場合がございます。</p>	



平成29年6月23日

海上保安庁

JICA 課題別研修(水路測量技術者養成の国際認定コース)開催について**～ 本研修を通じて世界の航海安全に貢献しています ～**

海上保安庁では、平成29年6月26日～12月15日の間、独立行政法人国際協力機構(JICA)と協力し、開発途上国で水路測量に従事する技術者を対象とした海図作成能力向上のための研修を開催します。

本研修は、JICAが実施する本邦研修の中で国際的な資格が取得できる唯一の研修で、本研修を修了した研修員には、水路測量国際B級資格が付与されます。修了生の多くは世界各国の水路当局の幹部として活躍しています。

海上保安庁は、本研修を通じ開発途上国の海図作成能力を向上させることで、世界の航海安全に貢献しています。

1 日程

平成29年6月26日(月)～12月15日(金)(詳細は別紙参照)

2 研修参加予定者(5カ国10名) 下線は初参加国

マレーシア1名、ウクライナ2名、インドネシア4名、フィリピン1名、エルサルバドル2名

本研修は、昭和46年から毎年実施しており、今年で47回目の開催となります。これまでに42ヶ国から421名の修了生を輩出し、開発途上国の能力向上に貢献しています。また、修了生の多くがタイ、フィリピン、マレーシアなど各国水路当局で要職を務めており、地域内・地域間の国際的な協力関係の強化にも大きな役割を果たしています(別紙参照)。

3 主なカリキュラム

- (1) 海図作成に必要な理論及び実務に関する講義(測地学、潮汐、水深測量等)
- (2) 海図作成に必要なデータ収集のための港湾測量実習(大分県別府港)
- (3) 海上保安庁測量船による洋上実習(駿河湾)*乗船取材可

4 取材申し込み

各種実習を含め、研修期間中随時取材を受け付けております。別紙のスケジュールをご参照いただき、取材を希望される場合は、下記までご連絡下さい。

海上保安庁海洋情報部技術・国際課国際業務室 電話:03-3595-3605 ファックス:03-3595-3627

主な研修スケジュール(予定)

実施予定日	実施予定場所	内容
6月29日(木)	海上保安庁海洋情報部	海洋情報部長表敬
6月30日(金)	海上保安庁海洋情報部	研修員カトリレポート発表会
8月17日(木)～18日(金)	宮城県	東日本大震災被災港視察及び 東北大学災害科学国際研究所 見学
9月26日(火)～10月26日(木)	大分県別府港	港湾測量実習
11月22日(水)～23日(木)	駿河湾	測量船による洋上実習
12月14日(木)	JICA 東京国際センター	閉講式

上記以外の期間は、主に海図作成に必要な理論及び実務に関する講義を予定しています。

【参考】

水路測量国際B級資格

各国の教育機関が実施する水路測量技術者養成コースに対し、水路測量等の国際基準を定める国際委員会(IBSC)により認定される資格で、国際A級、国際B級の2つに分かれます。

国際B級は、水路測量を全般にわたり実施可能な実務レベルの技術者の養成を目標としています。
(国際B級のコースは世界で26カ国30コースあります(平成29年3月時点)。)

本研修に参加した主な各国水路当局要職経験者

研修参加年	名前	役職
1972年	First Admiral Mohd Rasip bin Hassan	元マレーシア水路部長
1981年	Vice Admiral Supote Klangvichit	元タイ水路部長
1983年	Vice Admiral Charin Boonmoh	現タイ水路部長
1985年	Commodore Romeo I. Ho	前フィリピン水路部長
1987年	Rear Admiral Dato's Fadzilah Bin Mohd Salleh	現マレーシア水路部長
1990年	Mr. Efren P. Carandang	現フィリピン地図資源情報庁次長
1991年	Rear Admiral Zaaim bin Hasan	元マレーシア水路部長
1994年	Commodore Muhammad Arshad	現パキスタン水路部長

2016年に実施した研修の風景



港湾測量実習(別府港)



測量船洋上実習(駿河湾)